

銀の皿

—説教要旨—「どっぷりと」



私は繊維関係の工場に12年の間勤めていました。この工場で出来た反物（イラスト参照）はゴルフバッグ、スキーウェア、車カバーとして出荷されていきました。そしてこの工場の作業工程の中で染色というパートがありました。ここでは何時間も大量の染料で生地を浸し、様々な色に染め上げていきました。この染め上げる時間が短かったりすると、色ムラが出来たり、色落ちしやすくなります。なのでこのパートでは慎重に時間をかけて染料で浸し、染め上げていきました。

インターネットサイト「聖書入門.com」にこのように書かれていました。“バプテスマ（洗礼）の本来の意味は、「一体化」ということです。布を染料液に浸けると、その色に染まります。それがバプテスマの意味です。”私達はイエスキリストを信じたことにより聖霊の恵みにどっぷりと浸されました。そして罪によって分離されていた私達は神と一つにされたのです。そしてこの恵は今日学びましたように、聖なる共同体（教会）にもどっぷりと浸されました。なのでどんな人も皆同じ恵みを飲む兄弟姉妹とされたのです。

私達の人生にはムラがあります。良い日もあれば悪い日もあります。良い人が突然嫌な人になります。笑顔の日があれば、しかめっ面の日もあります。そして聖書を学ぶ人々は聖書にぴったりと則していない、つまり愛が無い、赦しが無い、神と共に歩めていないと肩を落としてしまいます。しかし私達はどっぷりと聖霊に浸されています。時間をかけ丁寧にイエス様の様になれるように神は私達を恵んで下さっています。主の恵みを共に感謝して頂きましょう。それが毎日主と共に歩く秘訣です。